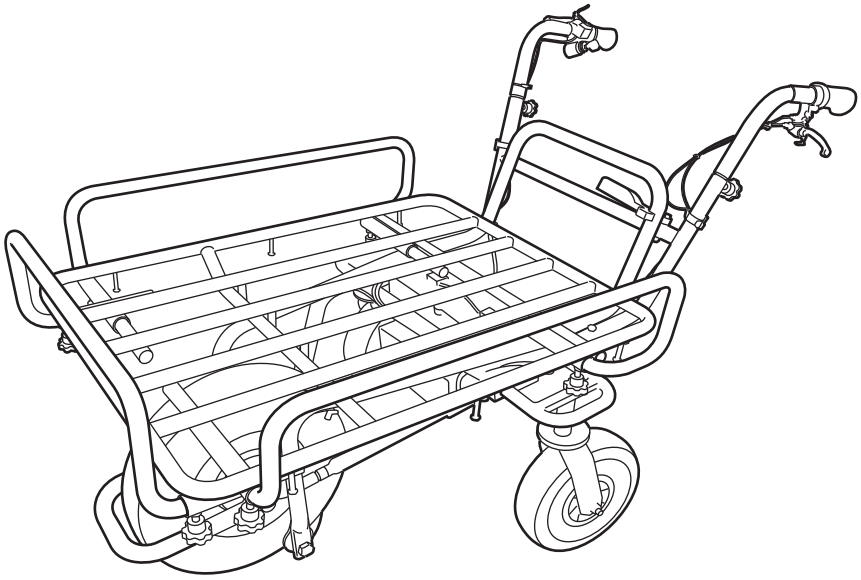


取扱説明書

ASSIST CARRY

アシストキャリー
MAC120

Wakita

は　じ　め　に

このたび当社製品アシストキャリーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
まず、次の点を確認して下さい。

- 機種は、御注文通りのものかどうか…
- 輸送中の事故で、破損していないかどうか…
- 付属品が全部そろっているかどうか…

もし、不具合な点がありましたら、製造番号と共に購入店または弊社支店・営業所へお知らせください。

本機は農作業や建設作業などで資材等の運搬作業をする機械です。
他の目的で使用される時は弊社営業所に問い合わせて下さい。

製品は取り扱いを誤ると、事故や故障の原因になります。
ご使用前に本書を最後まで熟読して下さい。5 分あれば読めます。

- アシストキャリーについてよくご存じの方でも、この製品独自の取り扱い方法がありますので必ずお読みいただいたうえでご使用下さい。
- 本書では、製品の正しい取り扱い方法や簡単な手入れ方法について記載してあります。
- 不明のところは製品の購入店または弊社支店・営業所におたずね下さい。

なお、製品の仕様等の変更により、内容が一部異なっている場合がありますのでご了承下さい。

※製品を譲られる場合は、次の使用者のために本書と一緒にお渡し下さい。

目　次

安全に関する表示
第 1 章　安全作業のために …… 1
一般事項 …… 1
第 2 章　各部の名称と仕様 …… 5
2-1　各部の名称 …… 5
2-2　仕様 …… 6
第 3 章　作業の準備 …… 7
3-1　本体の組立て …… 7
3-2　パイプ荷台の取り付け方 …… 9
3-3　バケット荷台の取り付け方（オプション） …… 9
3-4　バッテリーの充電 …… 10
＜バッテリーの充電方法＞ …… 10
第 4 章　ご使用方法とご使用上の留意点 …… 11
4-1　ご使用前の調整 …… 11
4-2　ご使用方法 …… 13
4-3　その他の調整 …… 15

安全に関する表示

安全規則を守らない作業は重大事故の発生につながります。
製品の運転や日常点検の前には、必ずこの取扱説明書をよく読み、十分に理解して下さい。
本書及び統制品で使用する安全に関する表示は、その内容や危険の度合いにより次のように使い分けてあります。

⚠ 危　　険

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る切迫した危険が存在していることを示します。
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

⚠ 警　　告

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る可能性のある危険が存在していることを示します。
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

⚠ 注　　意

人身事故もしくは製品の重大な破損に至る可能性のある危険が存在していることを示します。
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

重　　要

製品の損傷や著しい性能低下を招く可能性のあることを示します。
メッセージには、それらを回避するために守らなければならない注意事項が示されています。

当社では、あらゆる環境下における作業において起こりうるすべての危険を予測することはできません。したがって、本書に記載されている注意事項はすべてを網羅したものではありませんので、お客様の責任において、十分な注意を払って製品をご使用頂くようお願いいたします。

メ　　モ

第１章　安全作業のために

安全上の基本的注意事項

一般事項

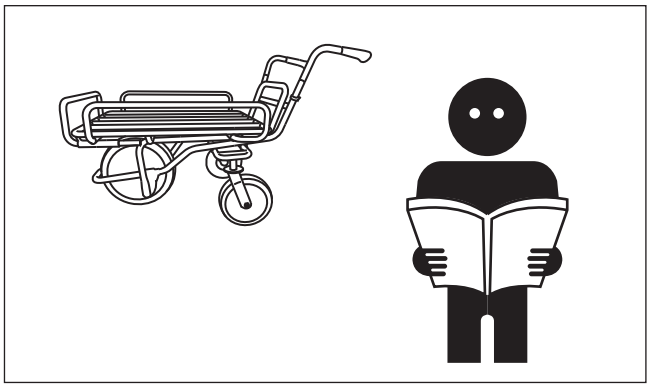
安全運転のために、次のことがらを必ず守って下さい。

1. 取扱説明書を読む

⚠ 危　　険

取扱説明書を良く読み理解するまで運転しないでください。誤った方法による運転操作は非常に危険であり人身事故を起こす原因になります。

- 取扱説明書は常に保管し、本製品を取扱うすべての人が繰返し読むようにして下さい。
- 子供や説明をうけていない大人に運転させない様、注意して下さい。



2. 体調の管理

⚠ 危　　険

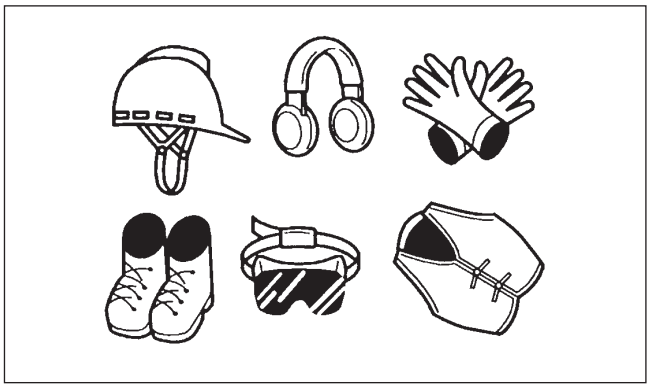
過労や病気、飲酒した時など正常な運搬作業ができない場合は運搬作業を行わないで下さい。

3. 安全な服装で！

⚠ 危　　険

作業に応じて保護メガネ、マスク、安全靴、不侵過性の手袋、など作業に適した服装を着用して下さい。

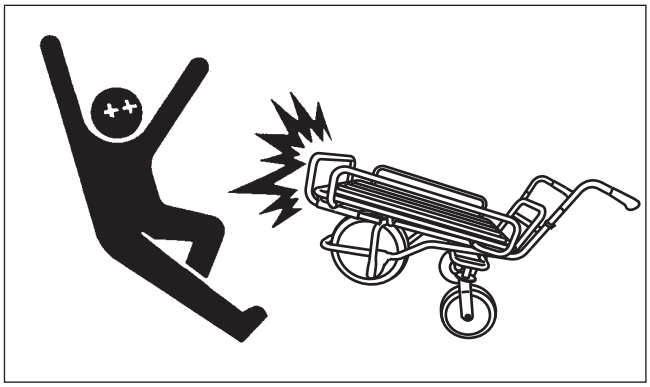
- だぶだぶの服やネックレスなどは、作業レバーや他の突起物に誤ってひっかかる恐れがあります。



4. 周囲の安全確認

⚠ 危　　険

使用に際しては人や物、障害物など、周りの安全に気をつけて下さい。



5. 感電・漏電に注意

⚠ 警　　告

- 前車輪やコントローラーは決して分解しないで下さい。感電や故障、火災の原因になります。
- 雨天時（降雪時含む）は屋外に放置しないで下さい。感電や故障の原因になります。

⚠ 注　　意

本品は電動機器です。簡易防水対策はしてありますが本品への放水や水中での使用はしないで下さい。

6. 電源を切る

⚠ 警　　告

発熱、発煙、異臭などの異常を感じたら速やかに電源をお切り下さい。破損や発煙の原因になります。

⚠ 注　　意

- 電動駆動を使用しない時には必ず電源スイッチをお切り下さい。（バッテリーの使用時間を長くできます）
- 万が一、煙が出たり、異臭などの異常を発見した場合はすぐに電源をお切り下さい。

7. 使用時の注意

⚠ 警　　告

荷台には決して乗らないで下さい。 また人を乗せないで下さい。ケガの原因になります。

⚠ 注　　意

- 使用前にフレームの固定ネジの緩みがないかを確認してからご使用下さい。
- 万が一、煙が出たり、異臭などの異常を発見した場合はすぐに電源をお切り下さい。

8. バッテリー、充電器使用時の注意

⚠ 警　　告

- 本品に使用するバッテリーは専用品です。バッテリーを交換する場合は販売店にご相談下さい。
- AC/DC 充電器は専用品です。本製品以外での充電作業をしないで下さい。
  使用時には AC コンセントに完全に差し込んでから充電作業を行って下さい。
- 本品に使用しているバッテリーを火中に入れたり加熱、分解することは絶対に止めて下さい。
- バッテリー内部には劇物の希硫酸が入っています。万が一、液漏れが発生して液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに大量の水で洗い流して下さい。また、液が目に入った時はすぐに多量の水道水（きれいな水）で洗った後、医師の治療を受けて下さい。希硫酸が目に入ると失明、皮膚に付くとやけどの原因になる恐れがあります。
- バッテリーの廃棄については地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。

⚠ 注　　意

バッテリーは自然放電します。使用しない場合でも前回の充電日から 2 か月以内に満充電して下さい。

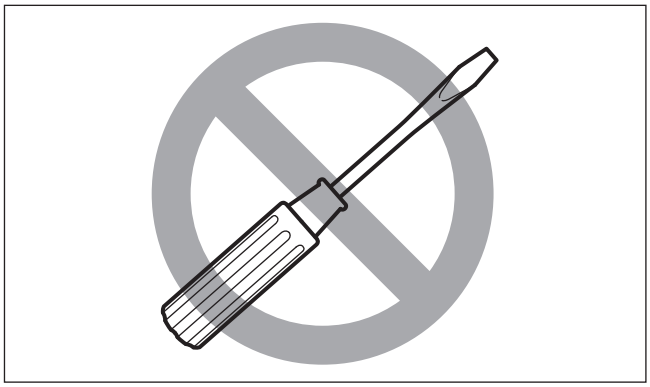
9. その他の注意

⚠ 警　　告

分解や改造は絶対にしないで下さい。故障や感電、火災の原因になります。お客様にて分解、改造された場合はメーカー保証外となります。

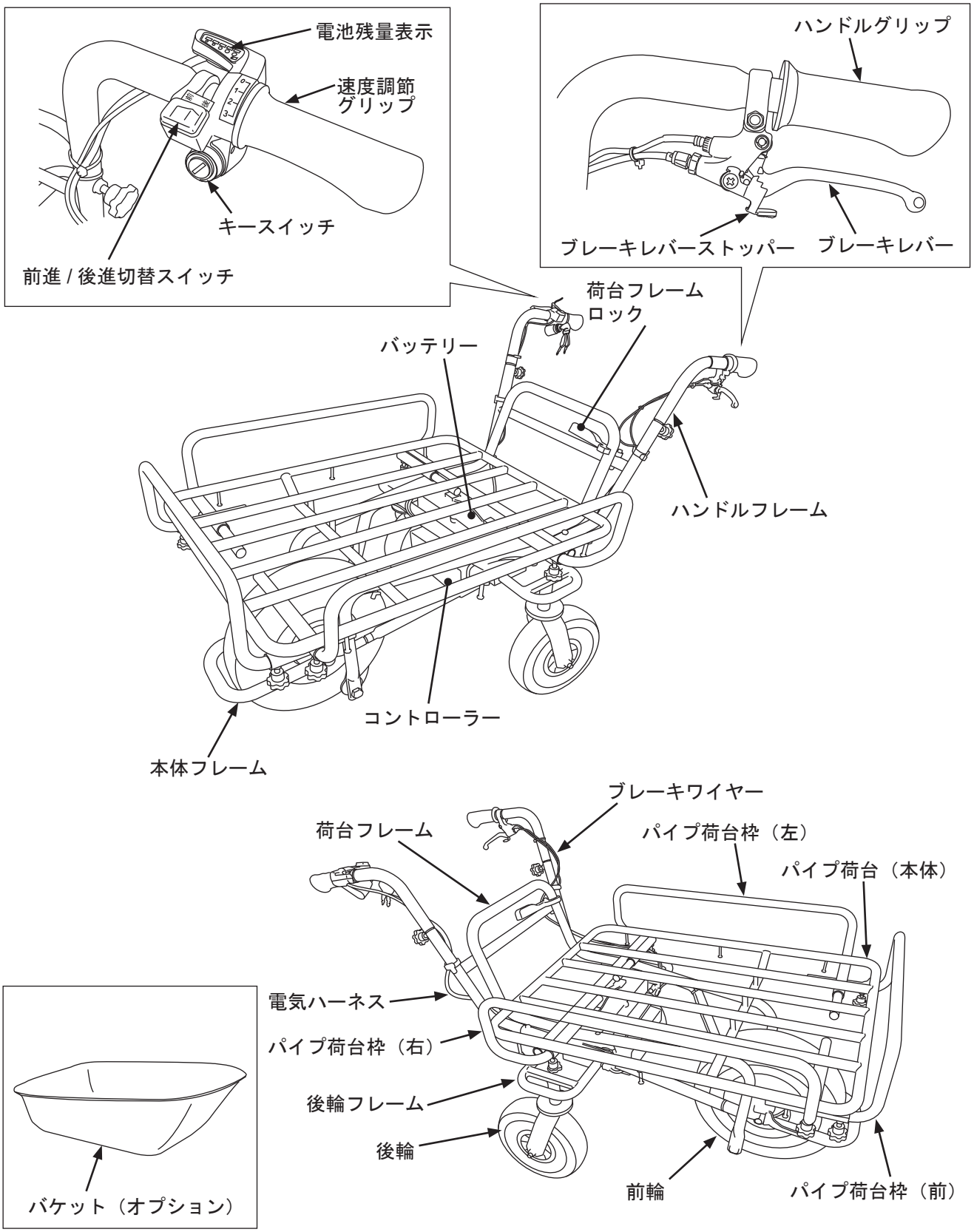
⚠ 注　　意

- 補修部品は必ず純正部品を使用して下さい。
- 本品の廃棄については地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。



第 2 章　各部の名称と仕様

2-1　各部の名称



2-2　仕様

型式		MAC120
寸法		1350mm(L) × 740mm(W) × 830 (900) mm(H) （) 内は最大高
重量		48kg（バッテリー、パイプ荷台を含む）
最大積載量		120kg
最大登坂角度		12˚ （120kg 積載時）
パイプ荷台		拡張式枠体
パイプ荷台面積		870 (970) mm(L) × 660 (860) mm(W) （) 内は拡張時
前輪タイヤ		1 個　4.08/4.00-8（外径 406mm、幅 102mm）（空気タイヤ）
後輪タイヤ		2 個　自在キャスター式（ノーパンクタイヤ）
後輪幅		可変式 (410mm ～ 640mm)
最小回転半径		1350mm（前輪を軸に回転時）
主電源		キー式電源スイッチ（キー 3 個付属）
速度調節		無段階式速度調節グリップ（グリップ 0 位置自動復帰式）
速度範囲設定		低速設定 / 高速設定切替スイッチ
前進 / 後進		前進 / 後進切替スイッチ
最大速度	低速設定	前進時最大速度 3.0km/h　後進時最大速度 1.3km/h
	高速設定	前進時最大速度 5.8km/h　後進時最大速度 2.0km/h
動力		ホイールインモーター（定格出力 250W / 定格回転数 80rpm/min） モーター過電流保護機能付
前輪出力	低速設定	前進時最大出力 20N･m　後進時最大出力 10N･m
	高速設定	前進時最大出力 33N･m　後進時最大出力 18N･m
ブレーキシステム		ワイヤー式ディスクブレーキ、固定機能付ブレーキレバー
バッテリー		DC24V　12A（電解溶液鉛蓄電池（密閉型）2 個直列）
充電器		入力 AC100V ～ 240V / 50 ～ 60Hz 充電出力 DC29V 1.7A（最長充電時間 10 時間）
使用時間（8 時間充電時）		約 3.5 時間（電池残量表示付）
作動温度範囲		0℃～ +40℃
バケット （オプション）	バケット容積	116 ℓ
	底部寸法	580mm（最大長） × 530mm（最大幅）
	最大幅 / 最小深さ	670mm / 190mm

※改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

第 3 章　作業の準備

3-1　本体の組立て

- 組付け時、ブレーキ調整時には付属のスパナ（2個）・六角レンチをご使用下さい。

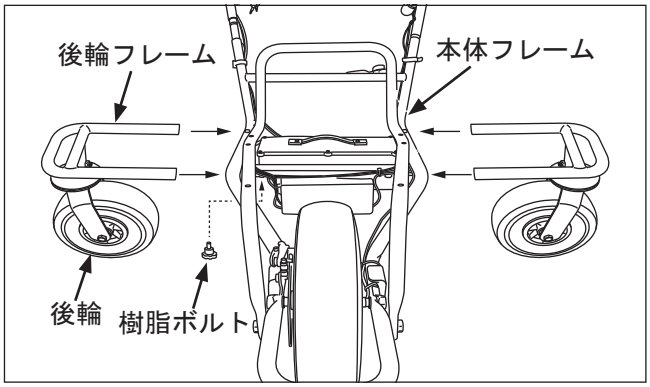
重　　要
梱包箱内の商品は組付け易くするために、主要な部品は既に装着されています。取出す時には十分注意して下さい。

- 本体フレーム・前輪・荷台フレーム・コントローラーケース・ハーネス・ブレーキワイヤーは既に組付けられています。
- ハンドルフレームには既に電源キー、速度調節ハンドル、電池残量表示、前進 / 後進切替スイッチ、ハンドルグリップ、ブレーキレバー、荷台フレームロックが組付けられ、ハーネス、ワイヤーが本体フレームに固定された状態で、本体フレームの差込部から外して梱包されています。
  ハンドルフレームを本体フレームと同時に梱包箱から取り出して下さい。

⚠ 注　　意
ハーネスやワイヤーを引っ張らないように注意して下さい。

- 後輪と後輪フレームは既に組付けられています。
- バッテリーは本体フレームの収納部に装着されています。
- ハンドルフレームの固定は付属のボルト、ナット平ワッシャー、スプリングワッシャー（2 組）で行います。

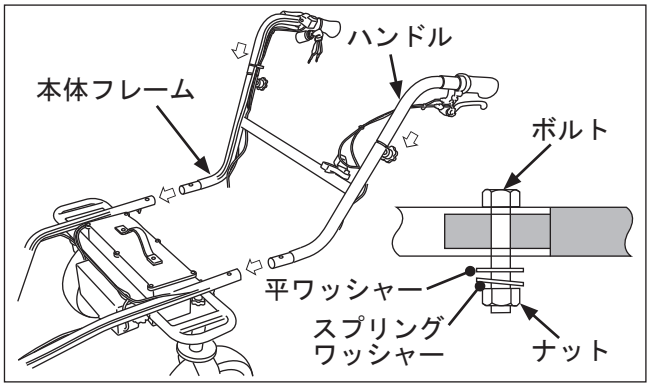
(1) 組付けられた後輪、後輪フレームを奥まで本体フレームに差込み樹脂ノブボルトで下方よりしっかり固定します。



(2) ハンドル（既に電源キー、速度調節ハンドル、電池残量表示、前進 / 後進切替スイッチ、ハンドルグリップ、ブレーキレバー装着されています）を本体フレームに差込み、穴の位置を合わせてボルトを通してからナットをはめて締め付けます。

⚠ 注　　意

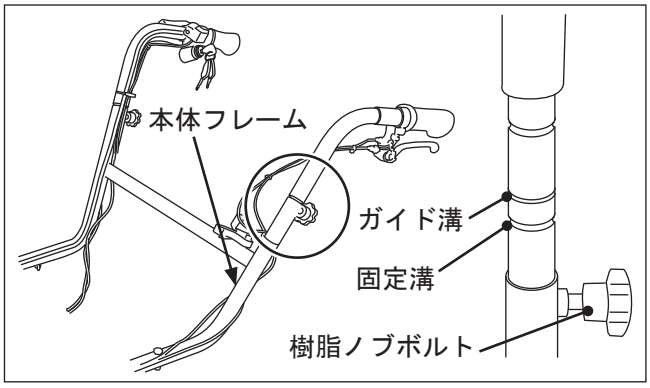
ハーネスやワイヤーを引っ張らないように注意して下さい。



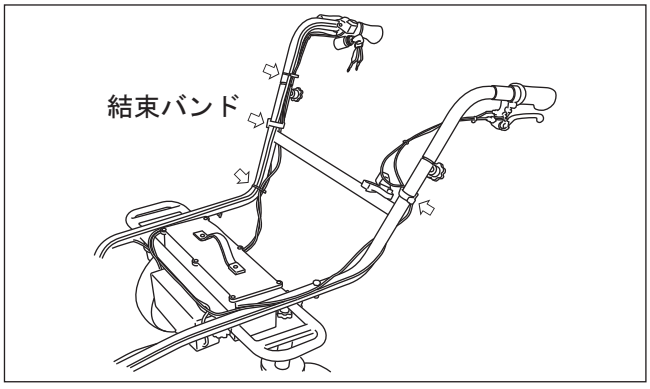
(3) ハンドルの高さを調節します。ハンドル高さは 60㎜ 間隔で 3 段階調節できます。
ガイド溝を本体フレームの端面に合わせ、固定溝に樹脂ノブボルトを合わせしっかりと締め付け固定して下さい。

⚠ 注　　意

ハーネスやワイヤーを引っ張らないように注意して下さい。



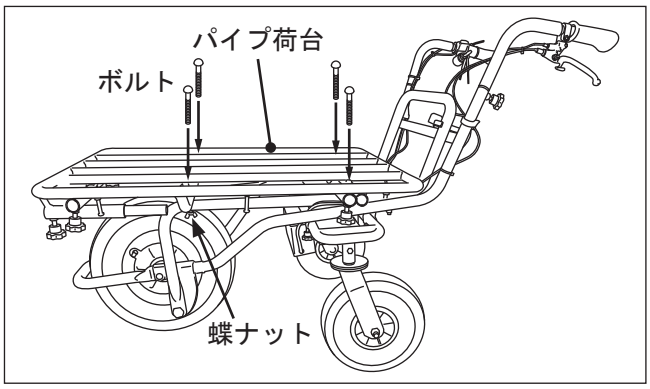
(4) ハーネス・ワイヤーのたるみを結束バンドでフレームに固定します。荷台フレームを回転させた時や、ハンドルを回転させた時にハーネス、ワイヤーが引っ張られることがないように固定して下さい。



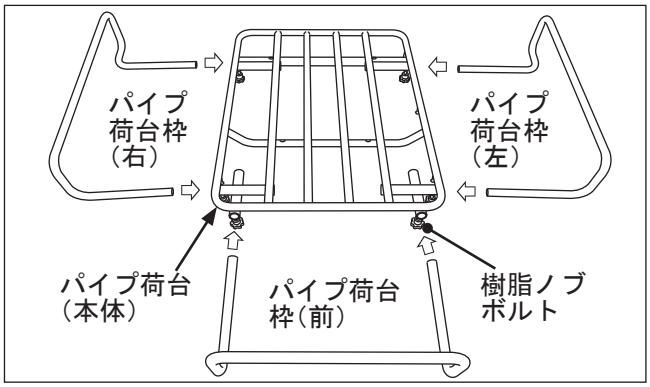
3-2　パイプ荷台の取り付け方

- 本体フレームが組み上がったら荷台フレームにパイプ荷台を付属のボルト / 蝶ナットで取り付けます。

(1) パイプ荷台本体を付属のボルト / 蝶ナットで取り付けます。荷台フレームの穴と位置を合わせ、付属の専用ボルト（4 本）を通して蝶ナットで締め付けます。

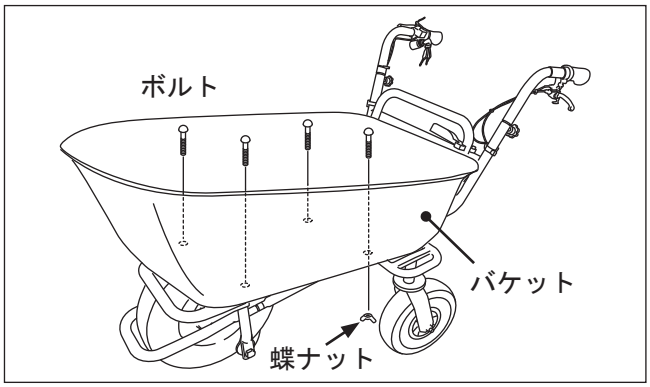


(2) パイプ荷台枠（右、左、前）をパイプ荷台本体の差込み口へ、奥まで差込み、樹脂ノブボルトを締めて固定します。



3-3　バケット荷台の取り付け方
（オプション）

- 本品には、オプションとしてバケット荷台を用意しています。荷台フレームの穴と位置を合わせ、付属の専用ボルト（4 本）を通して蝶ナットで締め付けます。



3-4　バッテリーの充電

- ご使用前に充電し、満充電の状態にして下さい。
- 充電は付属の専用充電器で行って下さい。
- 充電は運搬車に装着したままでも、バッテリーケースを取り外した状態でもできます。

⚠ 警　　告

AC/DC 充電器は専用品です。本製品以外での充電作業をしないで下さい。

⚠ 注　　意

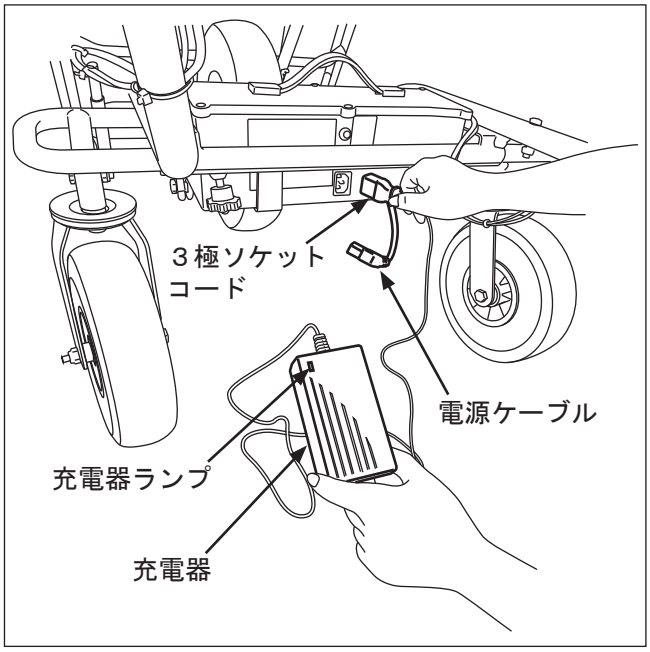
バッテリーは自然放電します。使用しない時でも 2 か月に一度は充電して下さい。バッテリーの電圧が降下し過ぎたものは、バッテリー性能の劣化により正常に充電・放電できない恐れがあります。

＜バッテリーの充電方法＞

(1) 充電器の AC コンセントプラグを家庭用電源（AC100V）に差込みます。

(2) 運搬車の電源ケーブルをバッテリーから外し、充電器の 3 極ソケットコードをバッテリーの 3 極プラグへ差込みます。（根元まで確実に挿入してください。）

(3) 充電中は充電器ランプが赤色点灯となります。充電が完了すると緑色点灯となります。



⚠ 警　　告

使用時には AC コンセントに完全に差し込んでから充電作業を行って下さい。

重　　要

- **12 時間以上経過しても充電完了とならない場合や、充電中に充電ランプが点灯しない及び充電器に異常な発熱が見られる場合は直ちに充電器の AC コンセントプラグを抜いて充電を中止して下さい。**
- **充電は風通しの良い 0 ～ 40℃の室内で行って下さい。**

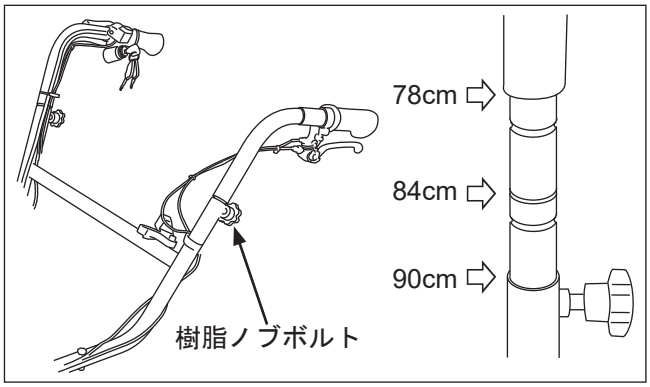
第 4 章　ご使用方法とご使用上の留意点

4-1　ご使用前の調整

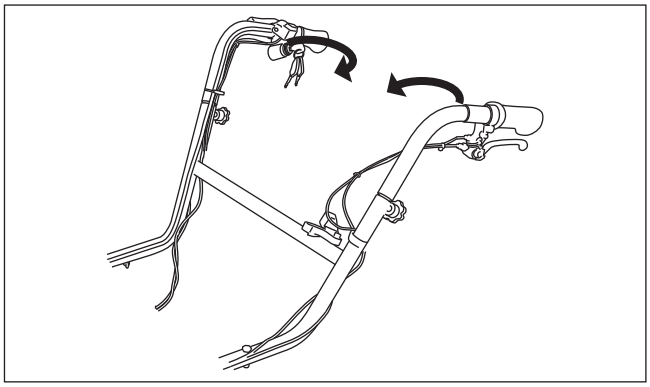
⚠ 警　　告

各種調整を行う時は、電源を切ってから行って下さい。

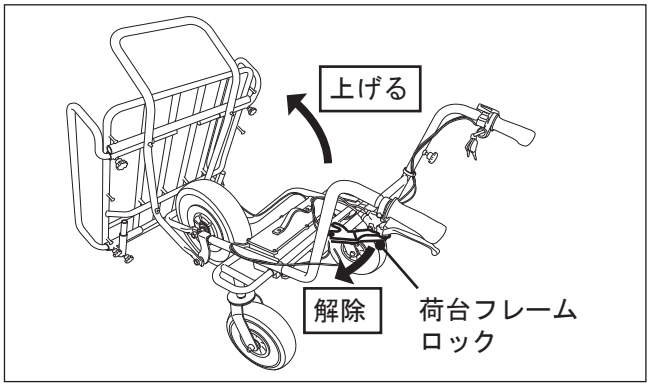
(1) ハンドルの高さは 78cm、84cm、90cm の間で 3 段階調節することができます。差込み部に刻まれた線と合わせ樹脂ノブボルトでしっかり固定して下さい。



(2) 左右のハンドルは固定ネジを緩めることで内側へ回転させることができます。回転後は樹脂ノブボルトで固定して下さい。



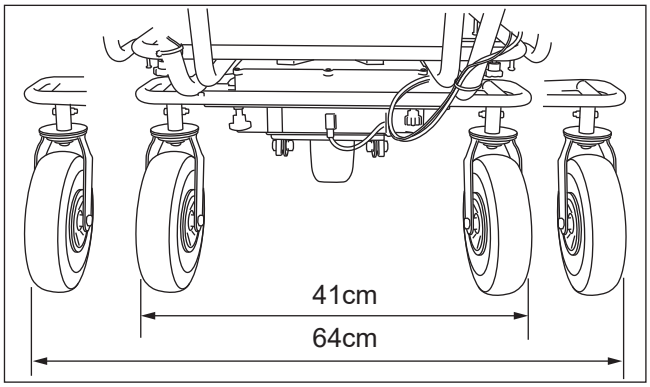
(3) 荷台フレームは常に荷台フレームロックを掛けてご使用下さい。荷台ロックを外す時は、必ず荷台フレームを手で押さえて下さい。また、荷台には片手で荷台フレームを持ち上げられる範囲内の重量にして下さい。



⚠ 注　　意

- **荷重が前方に偏っているとロックが外れた瞬間に荷台フレームが前に倒れることがあります。**
- **荷台フレームを持ち上げる時は、ブレーキレバーのストッパーをロックして下さい。**
- **荷重がハンドル側に偏っていると登り坂で前輪が浮き易くなります。**

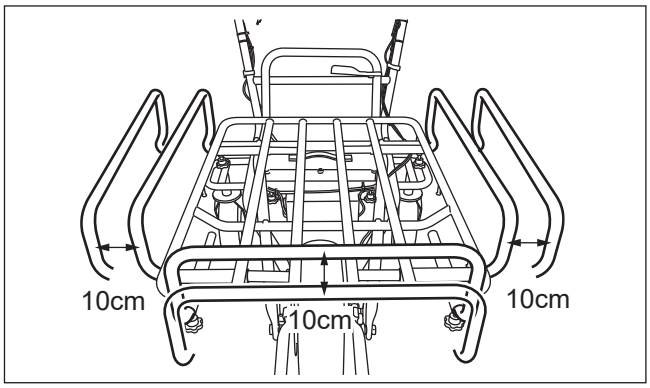
(4) 後輪幅は 41cm ～ 64cm の間で調節することができます。



⚠ 注　　意

- **拡げる時は後輪フレームの赤色塗装部分が差込み口から出ないようにして下さい。**
- **後輪フレームは左右同じ長さにして下さい。**

(5) パイプ荷台は枠を前側、左右側 10cm 拡大することができます。荷台枠は下方より樹脂ノブボルトでしっかり固定して下さい。



⚠ 注　　意

荷台枠は黒色塗装色が差込み口に隠れる位置で止めて下さい。

4-2　ご使用方法

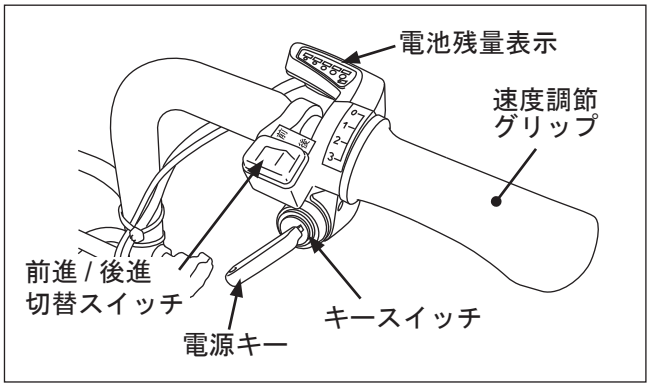
重　　要
動かす前に各部分のボルト・ナット類に緩みがないか点検し、緩みがあればしっかり締め付けて下さい。

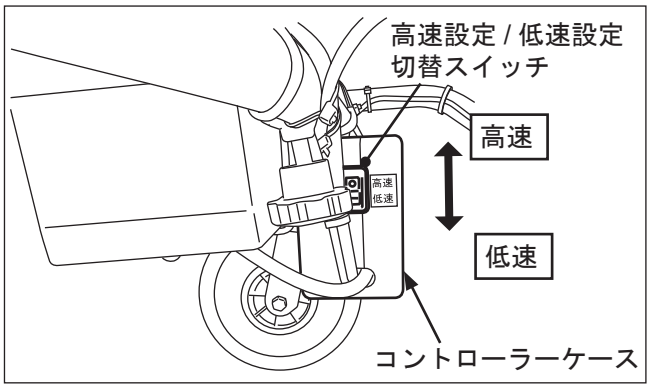
(1) 電源キーを回します。電池残量表示が点灯します。

(2) 前進 / 後進切替スイッチを確認します。

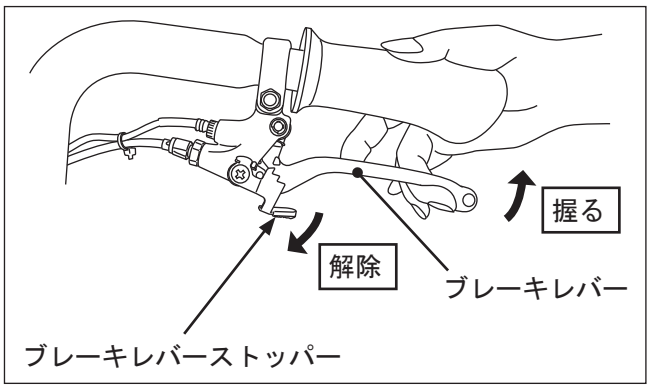
⚠ 警　　告
電源を入れる時は、ブレーキレバーストッパーがかかっていることを確認して下さい。ふいに動き出し事故の原因になります。

⚠ 注　　意
• 動かす前に必ずスイッチが前進 / 後進のどちらに入っているかを確認して下さい。 • 運搬車のスピードはコントローラーケースのスイッチで高速設定 / 低速設置を選択することができます。



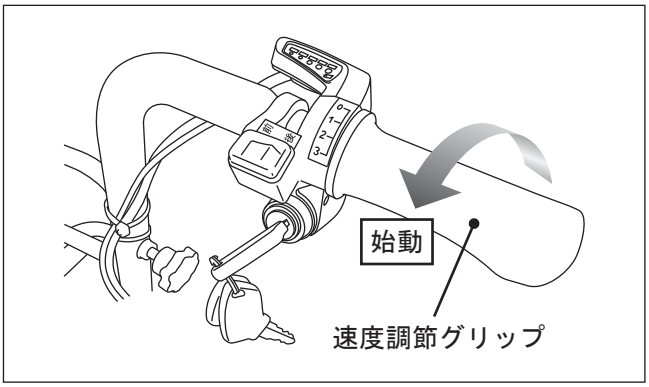


(3) ブレーキレバーを握り、ブレーキレバーストッパーを外してロックを解除します。

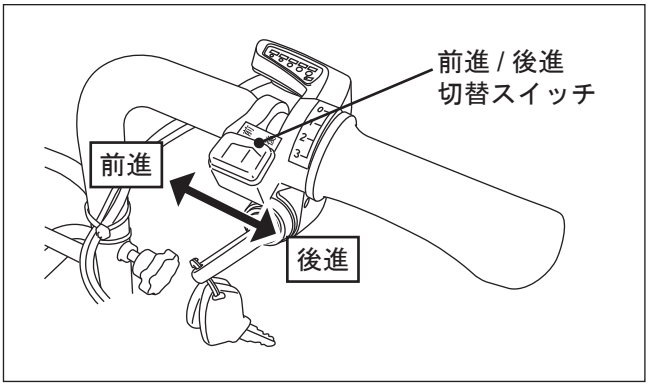


(4) 右側の速度調節グリップを左に回すとモーターが動き前輪が動き出します。
手を離すと速度調節グリップが 0 に戻り、モーター電源が切れ、前輪が停止します。

(5) ブレーキレバーを握るとブレーキが掛かります。
ブレーキレバーを握った状態ではモーター動力は切られた状態となります。



(6) 前進または後進中に前進 / 後進切替スイッチを切り替えないで下さい。前進 / 後進切替スイッチの切替は必ず停止後に行って下さい。
前進または後進中に前進 / 後進切替スイッチを切り替えた時は、安全装置が働き停止します。速度調節グリップを一旦 0 に戻してから再始動して下さい。

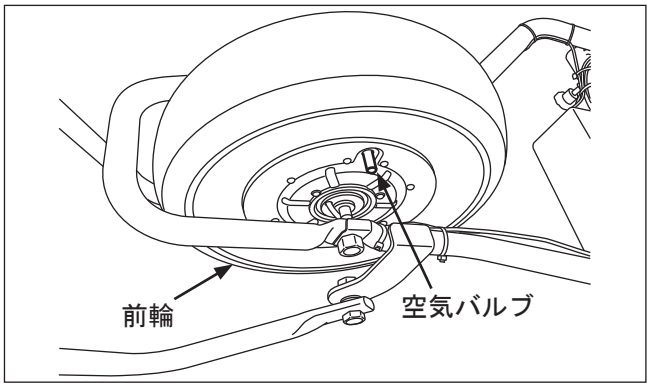


⚠ 注　　意

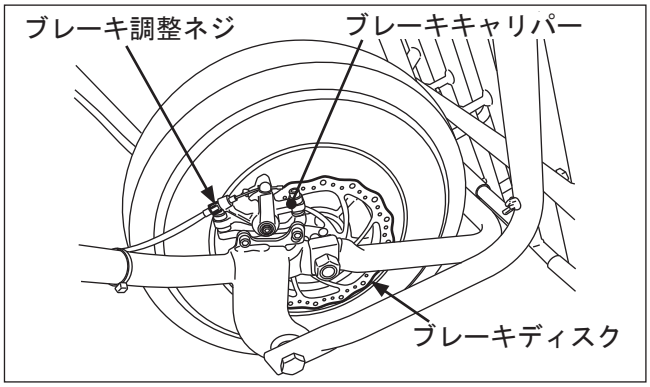
- **電動駆動を使用しない時には必ず電源スイッチをお切り下さい。**
- **運搬車から離れる時や使用を終了する時は、必ずブレーキレバーをストッパーでロックし、ブレーキが効いていることを確認してから離れて下さい。**

4-3　その他の調整

(1) 前輪は空気式タイヤです。
タイヤの空気圧は 250kPa ～ 300kPa の範囲でご使用下さい。
パンク修理は販売店にご相談下さい。



(2) ブレーキの調整はブレーキキャリパー部でワイヤー長さを調整し、ブレーキレバー部の調整ネジで微調整して下さい。
ブレーキキャリパーとブレーキディスクの調整は販売店にご相談下さい。



メ　　モ

アシストキャリー MAC120 保証書

本保証書は日本国内のみ有効です。This Warranty is valid only Japan
お客様の正常なご使用において万一故障が発生した場合は、当保証書記載の規定により、無償で交換または修理させていただきます。

1. 保証期間内（お買上げ日より６ヶ月間）に正常なご使用状態において万一故障が発生した場合は、無償で交換または修理させていただきます。その際はお買上げの販売店にご連絡下さい。

2. 次のような場合には保証期間内の故障でも有償とさせて頂きます。
   （郵送料等諸掛りはお客様のご負担となります。）
   1）本保証書にお買上げ日及び販売店名の記入・捺印が無い場合。
   2）誤用・乱用及び取扱不注意、取扱説明書の禁止事項による故障又は損傷の場合。
   3）弊社指定の販売店以外での修理．改造・分解が行われた場合。
   4）火災・地震・水害及び盗難等の災害・不適切は移動．落下などの場合。
   5）使用中に生じたキズ・汚れなどの外観上の変化。
   6）付属品の交換。
   7）原因が本製品以外に起因する場合。
   8）本保証書の提示がない場合及び必要事項の記入が無い場合。

製品名	MAC120	本製品番号	
お客様	ご住所　〒 ご氏名		
お買上げ日	年　月　日	保証期間	お買上げ日より６ヶ月間
販売店	ご住所　〒 ご氏名		

本保証書は製品番号、お買上げ日、販売店の記載がない場合は、無効とします。
必ずご確認いただき、記入なき場合はお買上の販売店にお申し出下さい。
この保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償で交換又は修理をお約束するものです。
したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

メ　　モ

メ　　モ

メ　　モ

株式会社ワキタ 滋賀工場
TEL 0748-75-2171　FAX 0748-75-0294

2606